

---

平成26年度第3回（第11期第3回）小平市廃棄物減量等推進審議会  
会 議 次 第

平成26年10月30日（木）  
午後2時00分～  
小平市中央公民館 講座室2

- 1 開会
- 2 事務局報告
- 3 議事
  - (1) 3市共同資源化事業基本構想について
  - (2) 一般廃棄物処理基本計画の一部変更について
  - (3) 今後の施設更新について
- 4 その他
- 5 閉会

配付資料

- 
- 1 3市共同資源化事業基本構想
  - 2 一般廃棄物処理基本計画の一部変更について
  - 3 資源物の処理関連施設の整備と各品目の処理等（今後の見通し）
  - 4 小平市リサイクルセンター配置図（現状）
- 参考資料1 3市共同資源化事業基本構想（案）の修正内容  
参考資料2 資源物処理施設等の更新後の処理フロー イメージ
-

会長

事務局  
会長  
事務局

ただいまから、第3回の審議会を開催いたします。  
事務局から、配付資料の確認をお願いします。

\*\*\* 資料確認 \*\*\*

それでは、次第の「2 事務局報告」に移ります。

今回の事務局報告では、7点のご報告をさせていただきます。

1点目に環境フェスティバルの実施報告です。

9月13日土曜日に昨年度の福祉会館前市民広場から中央公園、総合体育館、ふれあい下水道館に場所を変え、下水道の日記念イベントも合同で午前10時から午後2時まで開催いたしました。

2点目に、10月11日土曜日に小平・村山・大和衛生組合にて「つなげよう資源の輪、 広げよう地域の和」をテーマとして午前10時から午後3時までえんとうフェスティバルが開催されました。

3点目に、10月19日日曜日の市民まつりにて、ブースの出展とパレードに参加し、ごみ減量を呼びかけました。

4点目に平成26年9月1日から、市役所本庁舎、東・西出張所の3箇所に回収ボックスを設置いたしました。9月の回収実績として約156kgの回収が行われました。

5点目に議会での一般質問と決算特別委員会の報告です。

平成26年9月議会では、1人の議員からごみ関係の一般質問がありました。

また、決算特別委員会では、ごみ関係に8人の委員から延べ32件の質問を受け、多かった内容としては、食物資源循環モデル事業について延べ6件、ごみ有料化の関係について延べ5件、小型家電リサイクルについて3件でした。

6点目に11月の分別変更とパンフレット類の配布についての報告です。

こちらは、11月から分別を変更することになり、新しく「ごみと資源の出し方」を作成し、9月下旬から10月中旬に全戸配布いたしました。

7点目に東大和市の家庭ごみ有料化が10月1日から開始したので、情報提供いたします。

平成26年8月1日より戸別収集を開始し、10月1日より有料化を開始したと伺っております。この有料化の実施状況等につきましては、後日の審議会でごみ有料化の実例として、導入の経過や状況について東大和市の職員の方をお招きしてお話を伺うことを予定しております。

事務局からの報告は、以上になります。

会長

事務局  
委員  
事務局

ただいま報告のあった件について、ご質問などはございますか。

小型家電は全部で何キロになりますか。

25年度は455kgです。

回収ボックスの中に対象品ではないものは入っていますか。

入ってきますが、業者に引き取ってもらえるか調整してみます。家電と全然違うものは入っていません。

委員

基本構想の説明会について、小平・村山・大和衛生組合のホームページに出ています。小平市のホームページにも出ていますか。

事務局  
委員  
事務局

10月20日号の市報に出しているの、ホームページにも載せています。

新しいパンフレットは変更点がわかりにくいです。

変更点については市報特集号で載せています。

会長 続いて、次第の「3 議事」に移ります。  
3市共同資源化事業基本構想について、事務局から説明をお願いします。

\*\*\* 資料1と参考資料1に沿って説明 \*\*\*

会長 説明は終わりましたが、ご質問などあればお出してください。  
修正内容の家庭廃棄物に関連して、家庭系の「系」を取ったら、事業系廃棄物についても、事業系の「系」を取らないといけないのではないのでしょうか。

事務局 小平市についてのことですが、家庭から出る廃棄物は「系」を取って家庭廃棄物と定義し、事業から出る廃棄物は「系」を含めて事業系廃棄物と定義しています。事業系一般廃棄物や産業廃棄物を含めて事業系廃棄物としています。

委員 東大和市の家庭廃棄物の有料化とはごみの有料化のことですか。  
事務局 そのとおりです。

委員 26ページの将来予測とは東大和市の状況を見守るということですか。  
事務局 3市の実績から将来推計を行っていますが、東大和市の有料化については反映しておりませんので、改めて直近のデータを使って予測をやり直すという意味です。

会長 次に、(2)「一般廃棄物処理基本計画の一部変更について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 \*\*\* 資料2に沿って説明 \*\*\*

会長 3市の基本構想がある程度固まると、それに合わせて各市の基本計画を若干変更することになります。小平市の場合、リサイクルセンターの更新のために基本計画の変更が必要になります。  
ご質問などあればお出してください。

委員 資料2②のスケジュール一覧の焼却施設等の整備について、平成34年から稼働ということですが、検討はどのくらい進んでいますか。

事務局 基本構想でお話しましたが、組合の方で提案図書の作成について着手するという状況です。

委員 新しい設備が三基できますが、処理能力については定時の時間での処理能力なのか、24時間での処理能力ですか。

事務局 定時の中での処理能力です。たとえば日量24トンは1日5時間稼働した場合の処理能力です。日量と記載していますが基本的に5時間のことです。

委員 将来、人口が増えるかどうかわからないこともありますし、ごみが増えるのかもわかりません。そのあたりの処理能力の余裕はありますか。

事務局 基本構想の中で処理量の算出方法が出ています。45ページの例では、目標年度の処理量が多くなるところを算出して、そこから平均1日の処理量を算出します。そして月の変動係数と年間稼働日数を加味して施設規模を算出します。ある意味、将来推計より多い処理が可能となります。

委員 設備は余裕をもっていればいいと思います。  
事務局 基本構想で将来推計をしています。東大和市の有料化を反映していませんので、ごみ量については精査をして、設備の処理能力について最終的に整備計画に落とし込んでいく予定です。

会長	<p>最終的に施設規模を確定して、施設申請をするときにもう一度、処理量などの数値を確認します。リサイクルセンターのペットボトル施設の処理能力は当時大丈夫だと考えられていましたが、実際は量が増えて処理能力がぎりぎりになっています。特にプラスチック関係は慎重にしないとイケません。</p> <p>次に、(3)「今後の施設更新について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>*** 資料3、資料4、参考資料2に沿って説明 ***</p>
会長 委員 事務局	<p>説明は終わりましたが、ご質問などあればお出してください。 資料3の網掛け部分について、どんな対応を考えていますか。 これから検討していくところです。今の予定では新しいリサイクルセンターが33年度稼働ですので、代替期間が必要ですが、代替措置が必要ない形の更新ができないかも検討したいと考えています。来年度、検討結果をスケジュールも含めてお示ししたいと考えています。 リサイクルセンターの敷地は広いので、空いている土地に施設を作りながら、今の施設を更新する方法や施設を止めている間は民間委託する方法もあります。来年度、専門家にコスト比較などをお願いして、案を作成し、周辺住民や市民のご意見を伺いながら決めていきたいと考えています。</p>
会長	<p>問題は、リプレこだいらやPCBの管理、実行委員会用品など、どうしても建物が必要なものです。剪定枝のストックヤードはどうなりますか。</p>
事務局 委員 事務局	<p>剪定枝の処理方法と合わせてストックヤードのことも検討したいと考えています。 施設見学などの際、清掃事務所は見学コースに入っていますか。 コースに入っていません。清掃事務所では手作業で白色トレイを台の上で開けて、色付きトレイなど他のものが混ざっていないかを選別します。牛乳パックについても同様です。蛍光管も同じく、種類別にストックヤードに貯めておいて、搬出するときに種類別にコンテナに入れたり、割れているものをドラム缶に詰めて搬出するという、簡単な選別と積み替え作業をしています。</p>
委員 事務局 委員 会長	<p>白色トレイ・紙パックの行政回収量と店舗回収量の比率はどのくらいでしょうか。 事業者の資料がないため、比率を把握していません。 店舗回収を進めるような施策を取ってほしいと思います。 蛍光管をドラム缶に破碎して入れているということですが、環境省で水銀の空気中への放出規制があると思いますが、どうなっていますか。</p>
事務局	<p>清掃事務所で蛍光管の破碎はしていません。すでに割れているものをドラム缶に詰めているということです。</p>
委員	<p>リサイクルセンターのビン・カン棟は33年度に撤去と稼働が同時になっていますが、どういうことですか。</p>
事務局	<p>資料4をご覧くださいますと、新しい施設は敷地の中央に作りますので、現在の建物を稼働させたまま、新施設を建設できると考えています。新施設の稼働後に、既存のビン・カン棟を解体して、近隣のご意見をいただきながら緑地にするなど跡地活用を決めていきたいと考えています。</p>
委員 事務局	<p>11月の分別変更について、市民の反応はどうですか。 自治会から2件ほど説明会の依頼を受けています。電話での問い合わせは少ないです。</p>

委員	一戸建の人は分別を守っていますが、アパートでは守っていない人が多いです。
委員	新聞報道によると自治体でごみの開封検査をしています。ごみの実態調査は必要だと思います。
会長	実態調査は必要でも、開封するとなるとプライバシーの問題があり、裁判になれば負けてしまいます。いくら条例を作っても、開封された人が市を訴えたらプライバシーの侵害で敗けます。
事務局	ごみ質の調査を目的としての組成分析はやっています。
委員	東大和が有料化すると市境で不法投棄が発生する可能性があります。
委員	新リサイクルセンターに関しても基本計画を作るとは思いますが、来年度作るのでしょうか。
事務局	行政の方で案を作り、市民からの意見聴取を行いながら、基本計画を作成したいと思っています。そして、近隣の方を含めて意見をいただきながら、最終的な施設整備計画にしたいと思っています。
委員	新しい施設の基本計画が審議会の事項から外されているのはどうしてでしょうか。
事務局	基本計画自体を審議会で作るということではなくて、審議会では基本計画の報告をさせていただいてご意見をいただき、反映できるものは反映していきたいと考えています。審議会は諮問機関ですので諮問した事項を審議していただいています。
会長	基本計画を策定してくれという諮問内容ではありませんので、ご理解いただきたいと思っています。
委員	諮問内容に含まれていないのが心外なところです。
会長	基本計画は、人口の増減、ごみの施策による減量、年度によってどうしても増える可能性を推計しながら作成します。
委員	ごみの減量は事業者への働きかけが必要ではないでしょうか。
会長	事業者については、拡大生産者責任の考え方で環境省も動いていくと思います。議事については、以上とさせていただきます。
副会長	次回、第4回の審議会の日程について、事務局から説明をお願いします。
事務局	12月12日に施設見学ということで考えております。 見学は1日の行程で、小平市リサイクルセンターと小平・村山・大和衛生組合、そして昼食をはさみまして、東大和市の暫定リサイクル施設、こちらは3市共同資源物処理施設の設置予定地でございます。そして、武蔵村山市リサイクルセンターを巡る予定です。
副会長	ご質問などあればお出しください。
委員	3市共同資源化施設について、環境影響調査の基本物質4項目とはどんなものでしょうか。
事務局	資料がないので今はお答えできません。
委員	PM2.5やVOCが問題になっていて、イソシアネートという物質が化学物質過敏症と関連して問題になっています。3市共同資源化施設の環境調査に関してその問題をどう考えていますか。
事務局	環境影響調査につきましては、廃棄物処理施設を作る場合にやらなければいけないことは決まっています。VOCはそれに含まれませんが、みなさんの関心が高いので調査いたします。お金のかかることでもありますので、地域連絡協議会で分科会を作って詰めているところです。そこで方向性が決まっていくと考えています。
委員	VOCは多様で無数にあり、症状もいろいろあって、裁判に訴えても被害者が因果関係を立証しなければいけないので勝ち目がないということでした。そういうことが

---

副会長  
事務局  
副会長

起こらないように最大限の努力をしてもらいたいと思います。  
谷戸沢処分場と二ツ塚処分場の視察の機会があればありがたいと思います。  
機会を設けたいと思います。参考として年1回環境保全課で見学会を行っています。  
以上で終了いたします。ありがとうございました。